

授業科目	人体形態機能学Ⅰ (解剖生理学の基礎、 消化器学、泌尿器学)	単位数	1 単位	講師名	非常勤講師 医 師
		時間数	30 時間		
学年	1 学年		履修期	前期	
授業の目標	1. 人体の構造と機能を理解するための基礎を身に着ける。 2. 食物を消化・吸収し排泄するしくみを理解する。 3. 体液の恒常性維持の仕組みを理解する。				
授業内容 (授業計画)	解剖生理学基礎 (4 時間)		消化器学 (16 時間)		
	解剖生理学のための基礎知識 (第 1 章) 人体の構造 人体を構成する組織と細胞 人体の機能		栄養の消化と吸収 (第 2 章) 消化器系の構成 口から食道までの構造と機能 咀嚼 嚥下 腹部消化管の構造と機能 胃、十二指腸、空腸、回腸、盲腸、 虫垂、結腸、直腸、肛門 栄養素の消化と吸収 消化管運動と反射 消化管ホルモン 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能 腹膜 腹膜と腸間膜 腹膜と内臓の位置関係 胃の周辺の間膜		
	泌尿器学 (8 時間)				
	体液の調節と尿の生成 (第 5 章) 泌尿器系の構成 腎臓 クリアランスと糸球体濾過量 腎臓から分泌される生理活性物質 排尿路 尿の貯蔵と排尿 体液の調節				
	解剖学実習見学ガイダンス (2 時間) 棕田				
	実習見学の事前指導				
評価方法	筆記試験				
注意事項	循環器系との関連を意識して、消化器系及び泌尿器系を学ぶように努めること。 解剖学実習見학을 11 月に実施するので、ガイダンスには必ず出席すること。				
教科書	1. 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学〔1〕(医学書院) 2. 目で見るからだのメカニズム (医学書院)				
参考図書	特記なし				